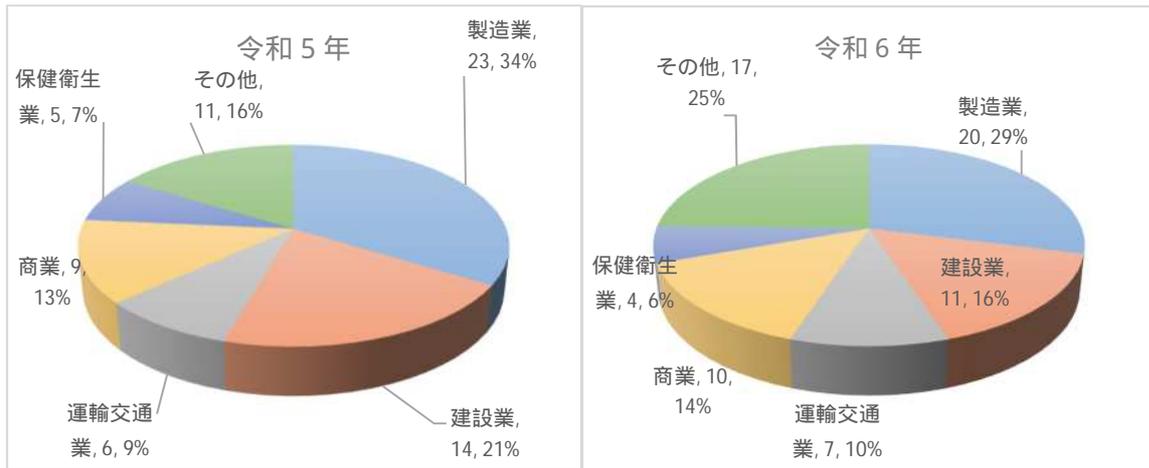


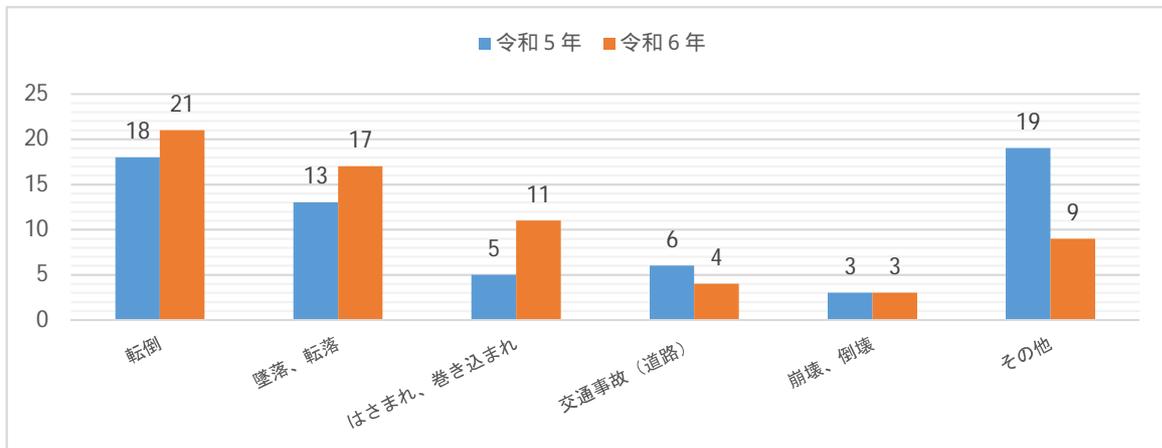
砺波労働基準監督署管内における労働災害発生状況(令和6年6月末)

1. 砺波労働基準監督署管内における労働災害発生状況

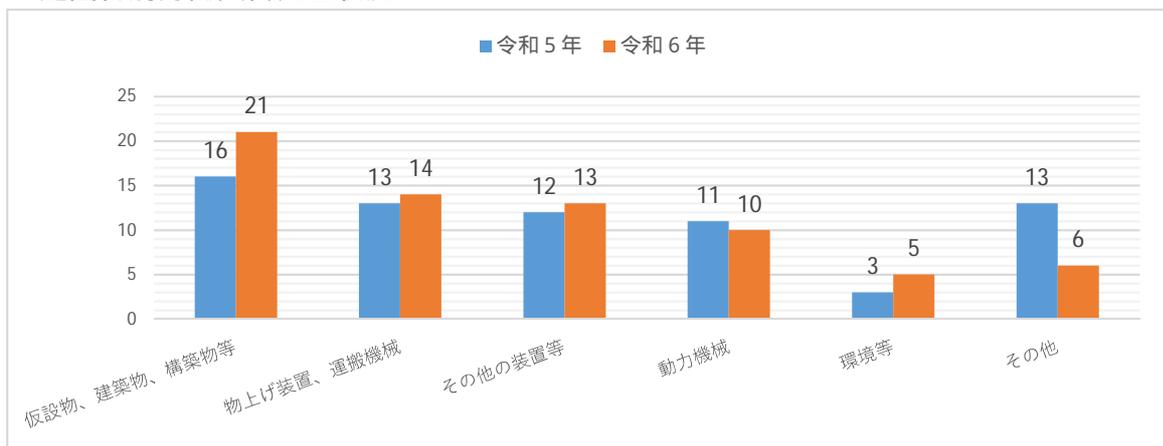
業種	令和5年	令和6年	増減	増減率	令和5年 (コロナ感染を除く)	令和6年 (コロナ感染を除く)	コロナ件数を 除く増減
製造業	23	20	-3	-13.0	23	20	-3
建設業	14	11	-3	-21.4	14	11	-3
運輸交通業	6	7	1	16.7	6	7	1
商業	9	10	1	11.1	7	10	3
保健衛生業	5	4	-1	-20.0	5	4	-1
その他の業種	11	17	6	54.5	11	17	6
合計	68	69	1	1.5	66	69	3



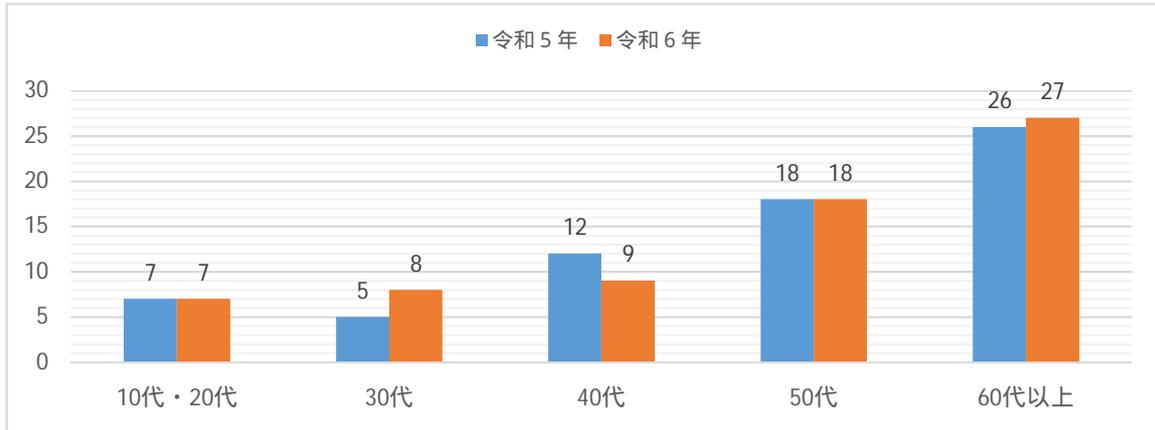
2. 全業種における事故の型別労働災害発生状況



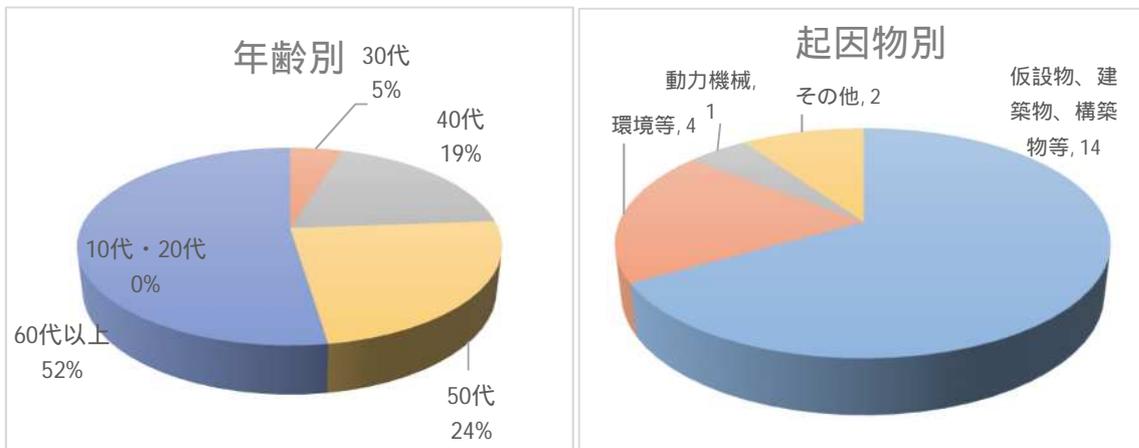
3. 起因物別労働災害発生状況



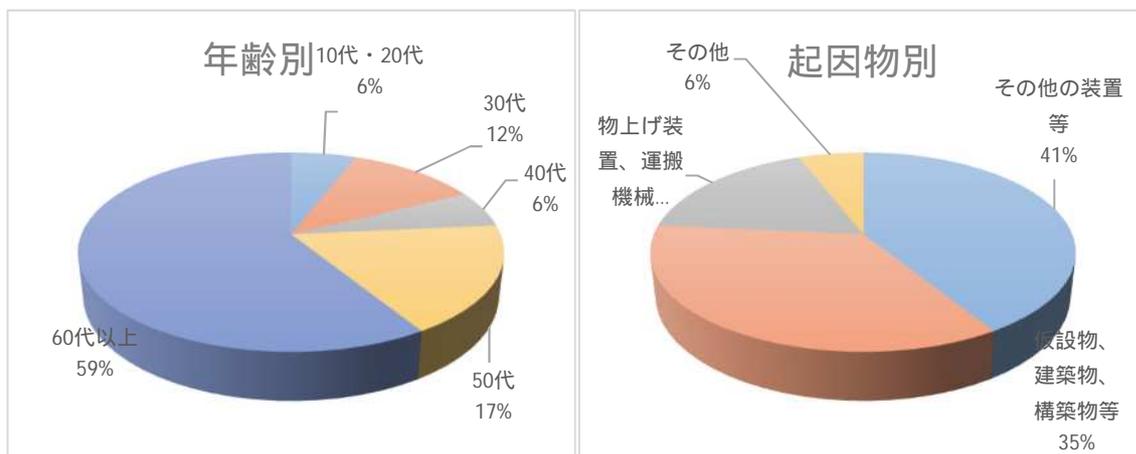
4. 年齢別労働災害発生状況



5. 墜落、転落、転倒労働災害について 転倒



墜落・転落



総評

- ・令和6年6月末の労働災害件数は、前年同月比で1件増（1.5%）となっています。商業等の三次産業において大幅な増加となっているところです。
- ・墜落、転落、転倒、はさまれ、巻き込まれ災害といった従来型の労働災害が大きく増加しており、建物内部等が災害の要因となっています。労働災害を防止するため、リスクアセスメントを実施し設備改善等職場の安全化、リスクの見える化に取り組みましょう。
- ・60歳以上の労働者の死傷割合が増加しておりますので、エイジフレンドリーガイドラインを参考に高齢労働者の働きやすい職場環境を形成してください。